

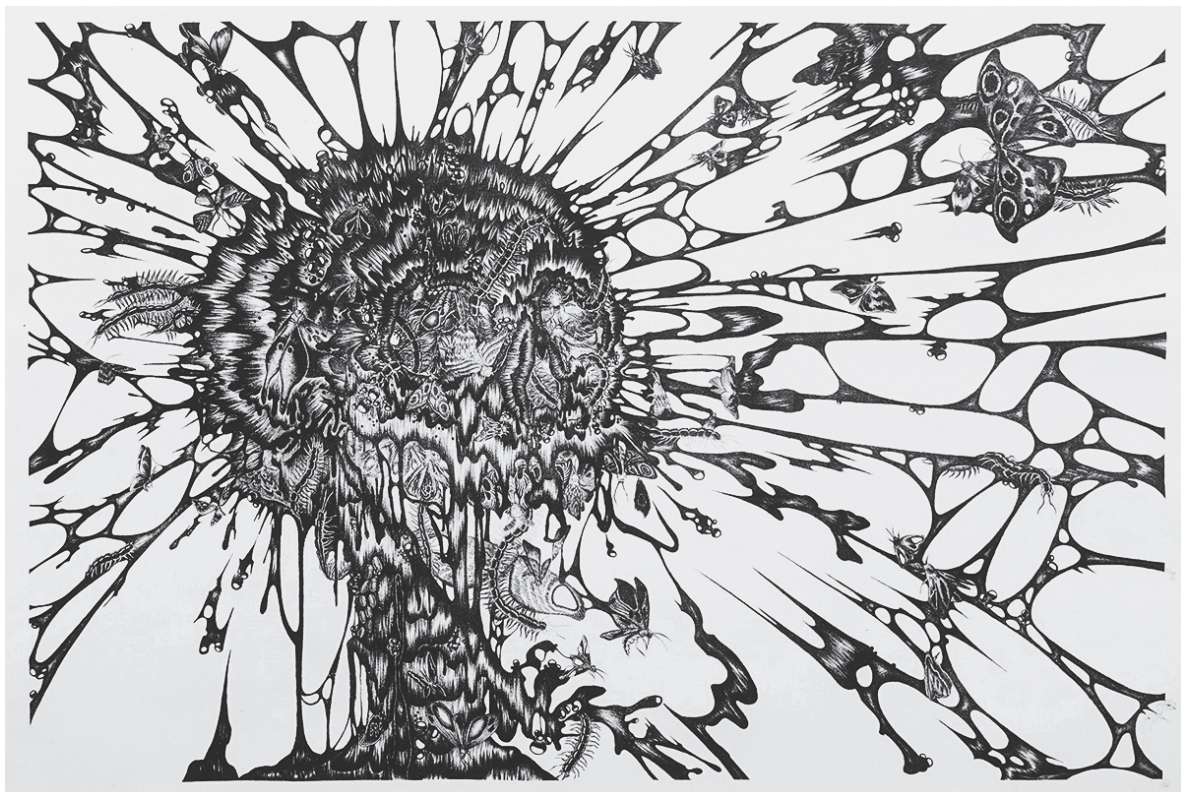
Alumni Association Report

日本大学芸術学部校友会報

107

2021

秋 季 号



CONTENTS

創設100周年に寄せて03

江古田会ニュース

北海道江古田会・佐賀江古田会08

宮城江古田会・ふくしま江古田会09

岡山江古田会・福岡江古田会10

山形江古田会・鹿児島江古田会11

熊本江古田会・石川江古田会12

日本大学芸術学部校友会各支部（江古田会）連絡表13

ウンレン・ブンレン 運動部連盟・文化部連盟 ただ今活動中14

学科ニュース

写真学科・映画学科15

美術学科・音楽学科16

文芸学科・演劇学科17

放送学科・デザイン学科18

世代と領域を繋ぎ、クリエイションの可能性を広げる

— 日藝校友会ホームページが18年ぶりにリニューアル —19

令和3年度芸術学部校友会総会開催報告21

校友会からのお知らせ22

編集後記22



今年の日芸祭のテ

**新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
今年度の日芸祭は対面とオンラインの
卒業生を含めた外部の方はオンラインで**

初の試みであるオンラインでの企画開催は、今まで芸術学
様々な場所から多くの方々に鑑賞・体感していただける





ー マ は「百 藝 万 博」

2本立てで開催することになりました。
お楽しみ下さい。

部のキャンパスでしか見ることができなかった日芸祭を、
大きなチャンスだと考えております。



最新情報につきましては、日芸祭2021「百藝万博」の
ホームページを開設しましたのでご覧ください。

<https://www.nichigeisai.com/>

今年度はコロナ感染対策のため学内の人数制限がか
かっております。在学生のみの日芸祭となりますので
卒業生の方は入構できません。

ニッポン放送
FM93 AM1242

オールナイトニッポン GOLD



百藝 1921-創設100周年-2021
Nihon University College of Art

日芸祭最終日の11/5(金) 22時～

ニッポン放送

『オールナイトニッポンGOLD』で
日芸創設100周年特番の
放送が決定！

芸術学部では、2019年
に株式会社ニッポン放送
と連携協定を締結し、ニッ
ポン放送の番組をはじめ
とする様々なコンテンツ
制作において、共同企画
によるスペシャル番組制
作や、タイムテーブルデ
ザインリニューアルに協
力しています。



©小川峻毅

立川志らくさん(落語家)
1982年入学 演劇学科

このたび、日芸創設100周年を記念して、ニッ
ポン放送と芸術学部とのコラボレーションによる、ス
PECIALプログラムの放送が決定しました。

日芸祭最終日の11月5日(金) 22:00～24:00に
『オールナイトニッポンGOLD』のパーソナリティを
務めるのは、落語家・立川志らくさん。芸術学部OB
をゲストに招き、在学中のエピソードや芸術学部の
魅力などを、たっぷりと語り尽くしていただく予定
です。

そのほかの番組でも、コラボレーション企画の放
送を予定しておりますので、乞うご期待ください。

創設
100周年に寄せて



私の日藝愛・・・吉谷彩子

協力／(株)トライストーン・エンタテイメント
衣装協力／KOH.style、+mm

マネージャー／西宮 貴子
スタイリスト／津野 真吾(impiger)
ヘアメイク／三宅 西
スタイリストアシスタント／尹 美希

写真撮影／重松 駿

日本大学芸術部創立100周年と言うことで、大学時代の思い出と、今の仕事について書かせていただくことになりました。

あまり知られていませんが、私は子役からお芝居をやってきました。

きっかけは、幼稚園の頃、人見知りだった私を母が児童劇団に入れたことです。

ですが、中学校受験をしたそのタイミングで芸能活動はほとんどやりませんでした。その間、陸上部に入り、勉強もしっかりやり、恋もしました。

でも、どこか片隅にはお芝居をしたい気持ちが残っていました。やっぱり芝居が好きでした。

人の気持ちを動かしたり、生きる希望を与える事ができるこの仕事に、再チャレンジしたいという気持ちがまた湧き上がってきたのです。

色々回り道をしたからこそ、普通の経験をしたからこそ、芽生えた感情だったのだと思います。

子役からやってきたとはいえ、中学高校と演技をほとんどしてこなかったのも、芝居をやった事のない人と同じスタートラインで、一から勉強したいと思いました。

そう考えると、やっぱり日芸しかありませんでした。

受験の際は、とても面接で責められました。「子役からやっているなら、ここで学ぶことはないのでは？」

確かにそうかもしれません。

ただ、私はここに掛けていました。大学がダメなら普通の道を行こう。その覚悟で必死に話しました。

どうしてもここに入って一から演技プランを見直したい。

先生の目を見て言ったことを、今でも覚えています。

無事、大学に受かった時はとても嬉しかったと同時に、この道を選んだからには、やるしかないというプレッシャーもありました。

入学当初、演技経験者から、全く経験したことのない人まで35人ほどのクラスでした。

大学で一から学ぶとしても、全く経験していない人よりは子役でお芝居を経験しているから、少しはできるはずと、余裕でいました。

しかし現実とは全然違いました。私は全然ダメでした。

声の出し方も、演技プランの創り方だってやってこなかった。

映像の知識なんてなにも分かりませんでした。

何もできていない、プライドが高いだけだったんです。

なんにも経験したことのない人達の方が生き生きと芝居をしていて、輝いて見えました。

私はとても自分が恥ずかしくなりました。

こんなくならないプライドはすぐに捨てよう。

そう思ってから私は、大学生活がどんどん楽しくなってきたのです。

授業にも積極的に参加しました。

居残りでセリフを覚えたり、友達の家で集まって練習しました。

台本が真っ黒になるまで沢山書き込みました。

毎日、毎日お芝居の事だけを考えて生きていました。

創ることがどれだけ難しくて、そのワンシーンにどれだけ of 想いが詰め込められていて、一つの役をやるのにどれだけ大変な事なのか。

ライバルであり、仲間でもあるクラスメイト。

そんな皆で創る事がこんなにも楽しくて、悔しくて、嬉しいなんてこんな経験は初めてでした。

何か悩みがあると先生のところに行きました。

先生は笑いながら、「大丈夫だよー」と背中を叩いてくれました。

それが何よりも安心させてくれて、優しさとお愛を感じました。

大学に入らないと分からなかった、経験できなかったことが、沢山あります。

本当に日芸に入って良かったと思っています。日芸が大好きです。

なんとか大学を卒業し、その後ビズリーチというCMが話題になり、TBS 日曜劇場の『陸王』『グランメゾン東京』や日本テレビの『ハケンの品格』など、様々なドラマのレギュラーをいただきました。テレビ東京の『ハルとアオのお弁当』というドラマでは主演を務めさせていただくなど、今も仕事を順調に、楽しく続けさせてもらっています。

ただ忘れていけないことがあります。それは地道に諦めずにやってきたことです。

あるアメリカの社会学者の言葉があります。

「101 回目に叩いた石が割れたのは、101 回目のおかげではない。

それまで100 回叩いたからだ。100 回目で諦めた人間は、その100 回の意味を知ることは永遠にできない」

私の大好きな言葉です。

私も大学に行かなければ、100 回目の意味を知ることはなかったでしょう。

諦めずに、続けてきたことに、必ず意味はあります。

よくインタビューでも言われるのですが

『実力派女優としてこれからどうなっていきたいですか?』

という質問をされる事が多々あります。

そう思っていたけるのはとても嬉しい事です。

ですが、私はまだまだ実力派女優ではないと思っています。

演技プランをしっかり立てて、その役と向き合い、どんな役でも愛してあげる事。

大学で学んだことを忘れずに地道にこつこつと、諦めずに、丁寧に。地道に、女優としてこれかもやっていきたいと思っています。



プロフィール
吉谷 彩子 (俳優)

1991年9月26日生まれ千葉県出身。
1996年から子役デビュー
2014年3月日本大学芸術学部
映画学科演技コース卒業

(株) トライストーン・エンタテイメント所属
ドラマ: ハルとアオのお弁当箱(テレビ東京)
映画: 本当は聞きたくない山の話「通学路」
テレビCM: ビズリーチ

受け継がれていく情熱、 そしてこれからの未来へ

演劇学科主任

教授 小林 直弥

日本大学芸術学部で演劇学科が創設され、70年という時が流れ、その歴史の中で『日藝』演劇学科が受け継いできた創ることへの情熱と挑戦への志は、脈々と引き継がれ、33年前に1年次生だった自分が、ご縁あって教員となった今も尚、その精神は若き創造者達へ引き継がれています。

昭和63年の春、最後の昭和年度学生として、演劇学科日舞コースに入学した私は、四年間を旧江古田校舎で過ごしました。入学早々行われた新入生ガイダンスでは、先輩方の歓迎舞台公演があるなど、入学時から兎に角刺激的で、情熱溢れる先輩方や、未来を大いに語り合える仲間もすぐにできました。今は亡き豊島園のグラウンドでは、芸術学部の運動会が開催され、前日までは朝から夜まで何故か応援パフォーマンスの練習の毎日。運動会当日には、各学科の応援団の先輩方で本気？の喧嘩合戦が勃発。しかし、それが後に全て打ち合わせ済みの芝居であったことを知り驚愕したことを覚えています。翌年平成元年からは所沢校舎が完成し、運動会も所沢校舎のグラウンドで開催されるようになり、その後運動会も新入生歓迎行事《春祭》へ移行されましたが、私の代までは、運動会が終わると豊島園のジェットコースターに乗り込み、なぜか全員で日本大学校歌を熱唱！ただ『日藝』は、学生個々の情熱が凄く、私も、今思えば情熱だけはあったものの、何の実力もない生意気な未熟者で、夢だけは大きく、また日藝生であるという自負だけは人一倍強かったように思



います。そんな訳で、当然何事にも上手くいく訳もなく、随分と悩んだり落ち込んだりもしました。しかし、そんな自分をいつも支えてくれたのは、個性豊かな先輩や、同期、そして演劇学科の先生や学科補助員の方でした。考えるに『日藝』の魅力は、兎に角も個々が大胆不敵に挑戦するエネルギーを持ち、それが不思議な繋がりというか、言わば団結力みたいなものがあるところだと私は考えます。学生と教員が、いつでも本気で議論を交わし、時に喧嘩したり、また慰めあったり、何だか学生生活4年間自体が一つのロングラン公演だったようにも思えます。どの先生もパワフルの塊で、良い意味で個性的すぎる先生方からは様々な刺激も頂きました。そんな私も卒業後は、舞台活動の側、学科補助員や副

手、助手として演劇学科で働かせて頂き、その後は、外部の研究機関で主任研究員として勤務しながら、専門誌の出版社で編集や執筆活動を通じ研究を続け、大学院後期課程を経て、再びご縁を頂き助教として採用いただくことになり、今日まで教育と研究に精進して参りました。

『日藝』の他大学にはない魅力とは、先生が同じ芸術という言葉で結ばれた創造者として、学生と向き合ってくれるところだと思っています。創造過程において、共に笑ってくれて、共に泣いてくれる。時には先を行く先輩として厳しい言葉を投げかけ、時には同じ目線に立って頭を捻ってくれる。そして、それは卒業後もずっと続いていく。先輩も後輩も同期も、学生も教員も、いつまでも同じ『日藝』の校友であることは、卒業後も様々に活躍する上で必ずその価値として感じることでしょう。

今、世界はコロナ禍の中、不安と恐怖の時代を生きています。そんな中でも『日藝』には、常に挑戦するエネルギーがあり、その炎は決して消えることがありません。学生と教員、そして校友の皆様と共にこの困難を必ず乗り越え、再び江古田校舎に集い何かが創造される。

「全ては新しい創造のために、そして新たな創造者のために。」

この言葉と共に、私はあの時の個性的すぎる先生方のように、学生と共に邁進する覚悟です。

校友の皆様におかれましても、応援のほど、よろしく願い申し上げます。

デザインで地域社会を元気に

デザイン学科主任
教授 長瀬 浩明

この度デザイン学科主任を拝命することとなりました。この場をお借りしてご挨拶申し上げる次第です。校友会では学科の学内常任幹事を仰せつかっております。小職は1989年に本学美術学科のインダストリアルデザインコースを卒業し、同時に同学科の学科補助員となり研究室のサポートを3年間務めさせていただきました。その間に所沢校舎が完成し授業が行われるようになると、江古田と所沢の研究室を往来した日々の記憶が蘇ります。任期満了後は研究室を離れ地方自治体の公設試験研究機関（公設試）の職員に採用され、地域のデザイン行政に携わるようになりました。地場産業や中小企業の振興のために大学で学んだデザインの知識やノウハウを生かしつつ企業からの製品開発やデザインに関する相談に応じたり、デザインをテーマとした異業種交流活動を推進したりする一方、自らの専門性の研鑽のために研究活動なども行ってきました。30年前はというと日本は既に高齢化社会が問題になっていましたので、研究テーマも福祉機器等の開発やデザインが中心でした。

公設試という職場は全国の地方自治体に広く設置されていますので、校友会の皆さまの中にもご存じの方がいらっしゃるかもしれませんが、当時からお堅い職場で周りの研究職員は理工系大学・学部出身がほとんどですので、「日藝出身」と言うと大変珍しがられたものです。仕事では地域の中小企業の社長さんやエンジニアの皆さんに対して、ものづくりにおけるデザインの重要性や導入についてクソ真面目に訴えていました。しかしながら、ものづくりの現場では優れた技術でいいものをつくれれば売れるとかデザインにはお金がかかるとかの理



由でデザインの導入がなかなか進まない時期というものを経験しております。

そうこうしているうちに2007年頃になりますと国の後押しもあって地域資源の活用や農商工連携というものに脚光を浴びようになり、第六次産業などという言葉も生まれました。そして全国至る所で地場産業や地域の特産品をベースとした新商品開発が進み、それらをブランド化していこうという取り組みが活発に行われるようになりました。行政の仲介で生産者や事業者とデザイナーをマッチングさせるコーディネート業務が増え、小職も年間で100件を超えるこのような案件に関わるようになっていました。デザインの導入が一気に進んだ時期でもあります。こうした業績が軌道に乗ったところ、今のデザイン学科の恩師から声がかかり、2010年に日藝に戻るようになりました。ちょうど江古田新校舎が完成した年でもあります。所沢・江古田校舎の竣工と自分の人生の岐路が偶然にも重なり、運命

のようなものを感じざるを得ません。

さて、前置きが長くなってしまいました。デザイン学科ではその礎を築いた山脇巖先生のパウハウスのデザイン教育を継承しつつ、一方では実践的なデザイン教育を行っております。その一例として産学あるいは産官学連携によるデザイン開発プロジェクトなどがあります。企業や自治体からの製品開発やブランディング、イベントの広告などに関するご相談やご依頼が近年非常に増えています。この場合受託研究や共同研究としてお受けし、授業外で学生らと創作活動を行なってクライアントに提案するようにしてきました。芸術学部としても創立100周年記念事業の一環として産官学連携プロジェクトを積極的に推進するようになりましたので、これまで以上に学内外と連携しやすい環境が整ったと言えます。また、世界的な課題でもありますSDGsにつきましても各方面と連携して取り組んで参りたいと存じます。

2018年には経済産業省・特許庁から「デザイン経営宣言」なるものが打ち出されました。低迷する日本経済を立て直す切り札としてデザインの活用を推進しようとするものです。企業や地域が抱えている問題をデザインの考え方（デザイン思考）で改善することが示されています。デザイン学科としましても学科が保有する資源、つまり教員や多くの優れた卒業生のパフォーマンスを発揮し、これまで以上に社会貢献できればと考えております。校友会の皆さまの組織のお悩みにデザインのお力でお応えできるかと存じますので、お気軽にご相談いただければ幸いです。どうぞよろしく願い申し上げます。

いま、校友会の存在意義が 試される

昭和53年度放送学科卒

日本大学芸術学部校友会会長 田上峻詞

日本大学芸術学部校友会員の皆様、こんにちは！

新型コロナウイルス感染拡大の第5波も漸く出口が見え始めてきたところですが、お元気で過ごしてはいかがでしょうか？皆様のご健勝を心から祈念申し上げます。

本年、日本大学芸術学部は学部創設100周年という記念すべき道標を迎えました。校友会会長として会員の皆様を表し、謹んでお祝い申し上げます。

この長きにわたる歴史の価値を考える時、『月日は百代の過客にして、行き交う人もまた旅人なり』という言葉を思い起こしました。学部創設100年という節目を迎える意義は、同じ日藝という学び舎で人生の最も多感な時期を過ごした多くの先人たち、教職員の皆様、一人ひとりに培われた“日藝魂”が結実した、実に多彩な歴史の集大成であると考えます。そしてこの日藝の絆が現役学生、この先の江古田に集う学生たちによって引き継がれ、脈々と学校に、そして社会に息づいていくことを期待してやみません。

さて 新型コロナウイルス感染の猛威は、私たちの日常に大きな変化をもたら



し、今なお社会全体に多大な影響を及ぼし続けています。

学部創設100周年を記念した学部式典も中止を余儀なくされたことはじめ、校友会も厳しく制限された状況下での活動を強いられております。定例開催の常任幹事会や執行部会も中止になり、文書持ち回り審議、オンライン・ミーティングで開催する等、校友会の活動を絶やすことなく、継続するため地道に取り組んでいるところです。

ともすれば個人と個人、個人と社会と

の関係が分断されがちなこのコロナ禍の中、校友会活動が校友会会員の皆様との絆の強化にいかに関与できるか腐心して参りました。

その活動の一端として、会報誌の刷新や校友会ホームページのリニューアルに悪戦苦闘しながら取り組み、いかに皆様のお役に立てるかを念頭に、時代の変化に対応したより良いコミュニケーションづくりに努めたいと思っております。

昨今、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が社会のトレンドとなるなど、私たちの暮らしや社会に大きな変革が訪れようとしています。

「芸術」もまたその本質は不変であっても、日藝での学び方や創作・表現方法が大きく変わり、学ぶ環境に変化が求められて来ています。

そうした状況の中で、私たちの聖地「江古田」で培った「人と人とのリアルな絆」が持つ唯一無二の価値を、再認識する良い機会となるのではないのでしょうか。

「時代」という大いなる人生の「かけがえのない旅の道連れ」として、私たち OB・OG が、常に変わりゆく社会を一足先に身をもって経験した先達として、様々な経験や知見を後進の皆さんに伝えていく役割を少しずつでも担うことができればと考えます。

これまでの100年、そしてこの先の100年において、校友同士のサステナブルで実り多い関係性を絶やすことが無いように、精進して参りたいと思います。

一人でも多くの方々の校友会へのご参加を期待しつつ、皆様の益々のご活躍と校友会活動への深いご理解とご支援を心よりお願い致します。



北海道江古田会

「皆さん今日は」

私たち北海道江古田会は、約1年間の準備期間を費やし、1996年にスタートしました。今から25年前になります。

北海道江古田会は、特に会員という形式をとらず北海道在住者や北海道出身者であれば、誰でも参加OKという形をとりました。

初代会長は、発起人でもありました、玉井洋一（昭和35年入学・文芸学科）です。※北海道江古田会は、入学年度を使っています。最初、名簿を調べてみますと、約600人という膨大な人数となりましたが、とりあえず、第一回目の総会を開くため全員に案内状を送りました。

第一回の北海道江古田会は、1996年8月7日、札幌プリンスホテルで開かれ、総会に出席していただいたのは、芸術学部校友会から佐々木照男会長、八木信忠学部長（当時）他各学部の北海道支部長の方々、会員合わせて67名でした。

第一回目ということもあって総会は、大いに盛り上がり、メンバーは、放送局や舞台関係、新聞社、プロダクション勤務など芸術学部らしい職業の人も多く、この会で新たな人脈を得た人達も多くいたようです。今、振り返ると、25年前は、みんな若くて女性も多く、活気にあふれていました…。

会のモットーは、年に一回、気どらないで普段着のまま集まり、近況を報告しながら、楽しくお酒を飲みましょう！ということでした。

今までに、総会の余興では、30秒P Rゲーム（30秒前後5秒以内の誤差で発表できた人は、豪華景品をゲットできる）、楽器演奏やマジックショー、舞踊、ビンゴゲームなど、会員による芸術学部の特徴を生かした舞台が、毎年繰り広げられています。

総会の会場は、今までにホテルや居酒屋、ホテルのサウナに入ってその後併設している居酒屋で総会、カラオケ付きイベントルームなど、色々な場所を使用し、気軽に参加できるような総会を開いてきました。

現在は、25年の月日が流れ、当時元気いっぱいだった男性諸君や、うら若き女性だった人たちも、少し身体のおちらこちらが弱くなってきたようです…。

ここ2年ほどコロナ禍の影響で、総会は中止をしています、またみんなで元気に集まる日を楽しみにしています。北海道江古田会は、永久に不滅です！！

北海道江古田会 会長 氏家 曹一



佐賀江古田会

佐賀江古田会会員の原田さゆりと申します（平成14年卒）

日本大学芸術学部音楽学科のピアノコースにいた私と情報音楽コースにいた主人とが出会ったのは、20年以上も前の事です。主人の実家が佐賀県でしたので、東京に住んでいた頃から何度が佐賀を訪れる度に佐賀の魅力を感じていました。主人のお父様が亡くなられた翌年に家族5人で佐賀へ移住し、早5年が経ちました。

江古田会は、主人のお父様（日芸音楽学科作曲コース卒）も生前には参加されていたとの事でご縁があり、年に一度の江古田会総会には主人と共に参加しています。同じ江古田で過ごした先輩後輩の方々からご活躍のお話やご経験をお聞きして、同士の誇りを感じつつ身の引き締まる思いが致します。前回は、電子ピアノを会場に運び入れて日大の校歌を伴奏しました。オーケストラの部分をピアノに編曲すると簡素ではありましたが、先輩方はしっかりと合唱していただき流石でありました。二次会は主人の実家のお店に集い、賑やかに懇親を深めております。

私は子供達も大きくなってまいりまして、お陰様で多くの皆様に支えられて音楽活動を続けられています。世の中が刻一刻と変わっていく中で、音楽の力を信じてお待ちいただくお客様のためにこれからも邁進してまいります。

最後に、各地の江古田会に若者が増え、江古田から世界へと益々芸術の素晴らしさが広がりますように期待し応援しております。



佐賀江古田会 原田さゆり

（音楽；平成14年卒）

◎入会金は 不要

◎年会費は 3000円

◎会員の人数 40名

◎活動内容

*毎年、総会開催日 佐賀の名所視察を企画

*学部長、校友会長、近隣の支部会員（熊本、福岡、長崎）が参加

*年2回 佐賀江古田会会報「ゆつつらーと」発行

*会員の個展、イベントを支援

*福岡江古田会アート展に会員が作品出品

■皆さんこんにちは。杜の都仙台にある宮城江古田会です。

32年前に誕生しました。会員は百人余りですが、総会や懇親会などに集まるのは20人位です。ここでは「日芸コンサート」というストレートなタイトルのコンサートを音楽学科卒業の有志が中心になって開催しています。コロナ禍の中、一度は中止になりましたが、今年は11月に6回目を行う予定です。また、会報「日芸みやぎ」を発行しています。10年前の東日本大震災の後、被災した会員の消息を伝えるのを主眼に始まり、今秋に第14号を発行する予定です。これまでに発行した「日芸みやぎ」は、日大芸術学部校友会ホームページ中の各地の江古田会の中にすでにアップしてありますので、ご覧ください。



■宮城江古田会創立20年の2008年に「第1回アートフェスティバル・東北」、また創立30年の2018年に第2回目の「アートフェスティバル・東北」を開催しました。東北各地の校友の皆さん、大学の関係者の皆さん、多くの方々のご協力を得て絵画や彫刻の展示、さまざまな楽曲の披露などを行い、芸術学部らしい楽しいイベントとなりました。

2回のアートフェスティバル・東北は、単なる発表の場ではなく、多くの卒業生の交流の場となりました。



令和3年度 宮城江古田会総会 第2回アートフェスティバル・東北

■コロナ禍で先が見通せない状況でしたが、6月10日に田上校友会長をお招きして、総会を開きました。今回は恒例の懇親会は行わず、会議室を借りて総勢10人の総会となりました。総会では令和2年度の活動報告・会計報告、今年度の活動計画・予算がすべて承認されました。また、「宮城江古田会の歩み」を動画で紹介しました。日芸校友会HPから見る事が出来ます。是非探してみてください。宮城江古田会では、新入会員を募集しています。性別年齢は問いません。入会金はありません。年会費は一口2千円ですが強制ではありません。会報のネタ打合せ、総会の内容打合せ、会員のコンサート観覧、あるいは参加など性別・年齢を越えての交流があります。お待ちしております。

事務局長 酒井 健樹 放送S52卒

ふくしま江古田会の会長代理をしている酒井です。今日は、役員会を定期的に開催し2022年5月予定の総会とコロナで中断しているアート展開催にむけて準備をしています。役員は総会の承認がないので、あくまで暫定ですが地域に貢献する江古田会を実現すべく「妄想」を語り合っています。

アート展を見直します。きれいに掃除した公園で作品展示やコンサートをやる。ミニFM局で番組を放送する。地元大学の学生と協働で地域の魅力を再発見するとか、江古田会の活動を市民に知ってもらうために地域に溶け込み貢献するという新しい形でのアート展を開催したいと思います。

ふくしま江古田会の会員は30名。入会金はありません。年会費は2千円です。しかし思うように会費が集まらず活動資金がゼロです。アート展開催のため寄付してもらったお金を使って会を維持しているのが現状です。会員を増やし会費を集めることが課題です。会のホームページではなくWEB戦略はできません。

役員の顔ぶれは多士済々です。テレビやラジオの局員、女子大の先生、広告代理店の現役クリエイターが地域貢献のアイデアを出しています。また通訳をしながら福島での地域おこしを実践している女性もいて国際色もあります。地元に咲く花の写真が縁でニューヨークを訪問し福島をPRしてきた役員もおります。

総会で承認されれば妄想を少しずつ形にしたいと思います。夢は世界へ向けて被災地福島からのメッセージ発信です。卒業生のみなさんご協力をよろしくお願いします。



暫定ですが、役員を紹介します。()内は出身学科です。

会長 酒井泰彦 (放送) / 副会長 齊藤弘久 (美術) / 幹事長 田中聡 (美術) / 会計 古宮未奈子 (放送) / 監査 野口奈穂子 (放送) / 幹事 鈴木 賢 (放送) / 鈴木則雄 (音楽) / 古賀 徹 (放送) / 昆 愛 (放送) / 参与 吉田公之 (美術) / 神山靖範 (放送) / 熊耳康昌 (映画)

以上

岡山江古田会

皆さんこんにちは、岡山江古田会の桐野です。先日、令和3年度岡山江古田会 総会・懇親会を市内のホテルで開催いたしました。出席者は10名、令和元年・2年度の収支報告、令和4年度岡山江古田会作品展の日程打ち合わせ後、懇親会に移りました。いつもはアルコールが入って、大いに盛り上がるのですが、コロナの影響で、一人ずつアクリル板で仕切られた席で食事をしました。黙食と言いたいところですが、高齢者が多いせいか、かなりの音量での懇談、致し方ないところです。我々岡山江古田会では年1回の作品展、総会、年数回の懇親会を不定期に開催しています。会員は約50名。若い方の会員が少ないのが悩みの種です。私の息子も音楽学科情報音楽コースの出身ですが、地元にもおらず、会に誘っても色好い返事がもらえません。どの地域の会でも同じような状況ではないでしょうか。



令和3年度岡山江古田会総会・懇親会

私は学生時代B.D.C演劇映画放送研究会という部会に所属していて、8mm映画の製作、芝居の上演などに携わっていました。私が出演していた芝居をたまたま観に来ていた美術学科の同級生塚本晋也さんが、自分が主催する劇団の芝居「キャラメル心中戦争」で私を悪の主演、野望河原小太郎役で起用していただき、武蔵大学のキャンパスでテント公演を行いました。

今や世界的な映画監督・役者として活躍されている塚本晋也さんと共演できたことは光栄というしかありません。

学生時代の友人達とはいまだに交流があり、コロナ禍以前は年に1回上京し、懇親を深めていましたが昨年・今年と2年間、上京できず、寂しい思いをしています。来年こそはコロナ収束後の東京で、友人たちとの再会を願っています。

Facebook:

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100009224424101>

文芸学科創作コース出身 桐野 潤

福岡江古田会

「皆さん今日は」お変わりありませんか。

福岡江古田の会員は現在28名で、主な活動は三つ。①会員相互の親睦を深める②会の活動報告としての会報[なんしょーとね]を発行する③会員作品を展示する[福岡江古田アート展]開催です。昨年10月福岡アジア美術館開催を決めていたアート展ですが、いつ終息するか見通せないコロナ禍の所為で開催中止を決定。コロナに負けるのも癪なので、第19回福岡江古田会アート展をオンラインでの開催に。閲覧方法は日大芸術学部校友会 (<https://koyu.art.nihon-u.ac.jp>) のHPから江古田会をクリック、福岡江古田会〇印をクリックすると開きます。又は (<http://onlinegallery.goo-photo.com>) から直接オープン。



福岡江古田アート展は今年が筋目の第20回です。是非とも美術館で開催したかったのですが、中止する事になりました。第20回アート展も今回同様オンラインだけの開催となります。

アート展タイトルが示す“江古田とその仲間たち”の様に福岡江古田会の会員に成るには学歴や経歴や地域など関係なくアートを愛する方なら何方でも仲間になれる。現在約半数の会員が“その仲間たち”です。あなたも仲間に加わり、一緒に“第20回福岡江古田会ONLINEアート展”を盛り上げませんか。出展料は20回を記念して無料とします。

入会、出展などのお問い合わせは、info@goo-photo.com まで、お気軽にメール下さい。（写真学科 544年卒業 裏辻憲康）

山形江古田会幹事長を拝命しております昭和62年度放送学科卒業の井澤と申します。在学当時は藝術学部スケート部に所属し、高田馬場のシチズンプラザスケート場でアイスホッケーの同好会リーグに参加していました。山形に戻ってからアイスホッケーチームに参加し、平成4年の地元山形国体では全国3位の荣誉を頂きました。しかし高田馬場のそのスケート場も今はなく、それよりも前にスケート部は廃部となってしまっています。国体後は転勤もありアイスホッケーから離れていたのですが、10年余り前に山形に戻ってからまた再開し、現在は五十路以上のオールタイマーというリーグで時折体の錆を落としています。

さて平和な例年であれば、毎年6月第2土曜に開催している総会のご報告をさせていただくこの場であったはずですが、コロナ禍の猛威で昨年に引き続き今年も開催を中止せざるを得ない状況となりました。会員の皆さんと会える貴重な時間が持てなくなったことは大変残念でなりません。山形江古田会は少し変わったところがあり、中退したOBや在学したOB・OGの父母も参加できます。大好きな江古田の街に縁のあった方は全員仲間という、江古田由来の会です。

山形江古田会は会員数が34名、会計年度は6月から翌年5月まで。これは6月に総会を開催し前年度の報告と承認を総会で得る形です。年会費の納入が5月までとなっており、珍しくも“後払い”システムを採用しています。総会で年度が始まり年会費の納入をもって年度を閉じる形です。年間の活動は他に日本大学校友会山形県支部があります。支部総会や支部役員新年会への参加、県支部会報「絆やまがた」発行協力などで、この会報は山形江古田会の会員にも配布しています。特筆すべきは平成31年3月に初めて開催した「やまがた就職合同個別相談会」開催への協力です。これは大学校友会県支部が主催し、日本大学に学ぶ学生を対象に山形県内企業の採用担当者との相談会を、日大山形高校を会場に開催するものです。山形県出身学生のUターン、県外出身学生のIターン・Jターンで優秀な人材を山形県内の企業に迎え入れる橋渡しを目的としています。始めてからまだ年数は浅いのですが、回を重ねてさらに良い会になればと思います。

昨年の春から現在までコロナ禍で校友会活動だけでなくあらゆる活動が休止しており、他県支部の皆様も同様と思いますが、非常に残念なことです。少しでも早く収束しそれぞれが活動を再開でき、来年こそは山形江古田会も開催できることを願って止みません。

①入会金は必要ですか？

⇒ 必要ありません。

②年会費は払うのでしょうか？

⇒ 年間2,000円お願いしています。

③会員の人数は？

⇒ 34名登録されています。

④活動内容は？

⇒ 一般会員は総会とその後の懇親会が主になります。

⑤Facebook、ホームページはありますか？

⇒ 山形江古田会では作っていません。

「サヨナラだけが人生だ」と吐き捨てながら無頼の人生を駆け抜けたのは、宿病を抱えた映画監督・川島雄三だった。45歳で死んだ（1963年）。残した名作「幕末太陽傳」の主演は、郷土のヒーロー・フランキー堺だった。川島雄三の助監督を務めていたのが、私が日藝映画学科1年生で演出論を受講した柳沢類寿先生だった。この先生も、当時癌になるよと言われていたチクロをコーヒーに入れて飲む先生だった。そして亡くなりました。

この新型コロナの時代を生き、高齢者となった今、如何に2回ワクチンを接種したからと言って平坦に生きていける訳ではない。身の回りにコロナ患者はいないけれど、関東の友人は、何人も知っていると言っていました。

全国の死者数を毎日聞かされる身なれば、身体もガタが来る。鹿児島もまん延防止等重点措置で、10月に高校生に出演してもらうつもりのイベントも先行き不透明です。不自由な生活です。まだまだ人生にサヨナラは言えないよね。

インフルエンザ・パンデミック＝コロナ禍に嫌気が充満していた時、おもしろい本に出会いました。

「感染症の日本史」磯田道史（文藝春秋）です。古文書を読み解き、師の研究を受け継ぎ日本の歴史をわかりやすく開陳する歴史学者の磯田道史氏の本なら面白くないはずがない。果たして、面白く読み進みました。

日本や世界の感染症の古代からの歴史、江戸時代、そしてペリー艦隊が持ちこんだコレラの話、そして、百年前の「スペイン風邪」の話へと、一気に読みました。

日本では、3波が襲ったそうだ。「第一波」（春の先触れ）1918年、大正7年5月から7月。「第二波」（前流行）、「第三波」（後流行）が収束したのが1920年5月頃。2年間の死者数は45万人。予防の知識がない時代だった。この頃からマスクが認識され始めたらしい。

第7章 皇室も宰相も襲われた。第8章 文学者たちのスペイン風邪など、一気に読ませる内容です。ご一読ください。

でも～磯田氏は、郷土の偉人・西郷隆盛を、上から目線の人だったと言っているんだよね～。残念。

コロナ禍でも楽しみが出来た。埼玉在住の娘が、孫を連れて避難してきているのだ。

2歳半の男の子だが、やかましいほどの声で喋る。でも、毎日成長を感じるほど。

嬉しいな、楽しいな。

会長 中野順（映画46年・1971年度卒）

■“熊本江古田会の御紹介を申し上げ奉りますう～っ!!” 何となく『江古田会』の発祥は熊本なのでございます!! 昭和60年(1985年)、全国に先駆けて発足しました我らが熊本江古田会! 勿論、江古田キャンパスに所縁があるのですが、発音が「エコダカイ」なので「ECOだ! 会」と、一般には勘違いなさる方も。(環境団体じゃありません! 笑。) 現在、事務局で把握しています県内在住の卒業生は60名弱です。去年と今年はウイルス禍で開催できなかったのが残念ですが、毎年7月に暑気払いも兼ねた総会を開催。学部本部(東京)や九州各県の江古田会さん。また日本大学校友会熊本県支部(オール日大)さんらをご来賓にお招きし、会員含め例年約30名前後のご参加があります。毎回、和気あいあいと懇親を深めております。勿論お仕事等の都合で全員の出席は難しい状況ですが、数年振りに参加なさる先輩もいて…かなり盛り上がりますよ! 年会費は二千元。日藝出身(卒業・中退は問いません)の方は一度遊びにおいで下さい! 現役生のご参加也大歓迎! 活動としては、数年に1回、展示会(公共美術館や民間の画廊等に)を開催したり、会員の個展がある際はみんなで駆け付けたり…。仲良く交流を深めています! 巡業で熊本にいらっしゃる日藝出身の方の演劇公演、コンサートや落語を団体鑑賞しに行ったり…。終演後に楽屋へ挨拶に伺うと、出演者さんは日藝の校友会「江古田会」の存在にビックリなさいますよ! 新たな活動として、受験者が減少しているようですので、高校生向けに江古田会で何かできないものか…と思案している処です!

■熊本地震で被災された、南阿蘇の垂玉(たるたま)温泉山口旅館さん(女将さんが文芸卒の山口芳子先輩)が日帰り温泉「瀧日和(たきびより)」として復活なさいました! コロナが終息しましたら、みんなで入浴に行こうと思っております! 熊本地震から豪雨と自然災害が続く熊本ですが、力を合わせ邁進して参ります!! 熊本出身の現役の学生さんも、帰省の際は声を掛けてくださいね～っ!! 待っていますバイ!

事務局長 川村晃生(演劇・H16年3月卒(H15年度卒))



●福井県から新しい仲間が加わりました!



アートディレクター 竹内幹雄氏

日芸美術学科学卒。在学時はフォトボエム研究会に所属。1977年に竹内幹雄デザイン事務所を設立。松任谷由実のレコードジャケット、ブリヂストンスポーツのゴルフクラブのデザインをはじめ、数々の企業の広告デザインを制作。福井市在住。

“危ないから絶対に行くな! と言われたが、突然、凄く活気あふれる平和な街に入り込んだ印象がした。”

1975年、ニューヨーク。ハーレム黒人街、閉鎖中のアポロシアター前に若き竹内さんがいた。現在は観光地だが、当時は白人や黄色人種はひとりもいなかった。



友達に教えられたトップレスバーには閉店の2時頃まで週1・2回通っていた。カウンターで飲みつつ、こっそりシャッターを切っていると、背後に屈強なマフィアの男。カウンター内の女の子は両端に外れ、ダンスも曲もストップ。これはマズイ! ともすれば身の危険もある緊張感。そっと袖の下から20ドル紙幣を渡した。「空手はできるか?」「Sure!」型をしてみせると「本物だ!」と笑顔になり、その日からスタッフの人気者になったという。江古田校舎で、空手部の練習を毎日見ていた賜物とのこと。—— 楽しい経験を語ってくれた竹内さんが加わりました。今では考えられない華やかな時代の第一線で活躍されたお話しは、羨ましいものばかりでした。フォトボエム研究会の仲間とは、いまでも交流が続いているそうです。



●近県から会員を募集しています!

当会は創立7年目。会員の交流と、地域の文化振興を両輪に写真展やコンサートなどを企画・開催しています。

石川県の方はもちろん、北陸の校友会として福井県や富山県など近県からも特別会員としてご参加いただけます。一緒に楽しいことしましょう! 会報誌『いんぎら～っ』もぜひ見てね!

ご興味を持たれた方は事務局へご連絡ください。

事務局 〒920-0809

(干場 文夫) 石川県金沢市三池栄町147番地

TEL 076-205-5623

E-Mail ishikawaekodakai@gmail.com

日本大学芸術学部校友会各支部（江古田会）連絡表

各支部では参加者を募っておりますので是非皆様のご連絡をお待ちしております。

支部名	連絡窓口	卒業学科年度	連絡先
北海道江古田会	氏家 曹一	放送S52・1977年度卒	090-3468-6657
青森江古田会	高木 保	演劇S32・1957年度卒	0177-77-7708
秋田江古田会	仙北屋 昭弘	音楽S54・1979年度卒	090-2954-2283
岩手江古田会	佐藤 剛	演劇S53・1978年度卒	0197-25-5497
宮城江古田会	桑折 洋一	放送S55・1980年度卒	090-3752-8833
山形江古田会	横倉 晋也	美術S52・1977年度卒	023-631-8040
ふくしま江古田会	酒井 泰彦	放送S58・1983年度卒	090-5353-1820
新潟江古田会	増井 伸一	写真S48・1973年度卒	025-233-3910
長野江古田会	三浦 博之	放送S49・1974年度卒	0263-46-2583
愛知江古田会	藤田 勝	演劇H9・1997年度卒	090-1783-5103
石川江古田会	干場 文夫	音楽S50・1975年度卒	090-6273-4982
岡山江古田会	藤井 一也	文芸S53・1978年度卒	090-3177-0334
福岡江古田会	飛嶋 慶一	写真S44・1969年度卒	090-6953-5543
佐賀江古田会	光野 忠利	映画S40・1965年度卒	090-9659-0952
熊本江古田会	奥村 隆志	写真S43・1968年度卒	090-7169-2909
宮崎江古田会	米倉 史朗	写真S52・1977年度卒	090-1080-8082
鹿児島江古田会	堀之内 隆	放送S49・1974年度卒	090-3739-7374
中国江古田会	馮 建国	院H9・1997年度卒	—
台湾江古田会	林 舜龍	美術S61・1986年度卒	—
韓国江古田会	イ サンユン	院H8・1996年度卒	—

ウンレン・ブンレン

運動部連盟・文化部連盟 ただ今活動中

運動部連盟 剣道部

これまで、週に3回の活動や月に1回程度のOBとの稽古会、練馬区大会や付属大会などの大会出場など積極的に活動してきた剣道部ですが、新型コロナウイルスにより、サークル活動が難しい状況になってからは全くと言っていいほど活動できていません。剣道は特に対人競技であり、人との接触が多い格闘技であるため、より感染対策に気を使わなければ、集団感染に繋がってしまう恐れがあります。また、例年日藝祭では焼き団子屋を出店しており、ありがたいことに毎年行列ができるほどの大盛況でしたが、それもコロナの影響で出来ず、活動どころか存続すら危ういのではないかと危惧していました。

しかし、ありがたいことに今年度に入り新入部員が5人ほど入部しました。まだ顔合わせもままならない状況ですが、このような状況下でも日藝剣道部に興味を持ち、活動したいと思ってくれる学生さんがいることを知り、とても喜ばしく思います。

今後はOBや大学とも相談しながら感染対策を考え、コロナ以前のように戻れなくとも、なるべく早く充実した活動ができるよう尽力していきたいと考えています。

剣道部 部長 大友 瑞穂（映画学科4年）



文化部連盟 オーディオ無線研究会

オーディオ無線研究会、略称「Ω（オーム）研」は、主に、ラジオ番組やラジオドラマを作成し、季節ごとにある定例や日芸祭にて、これらを放送、配信していました。

しかし、コロナ禍になりこのような活動が出来なくなってしまった今（2021年8月）、オーム研ではオンラインでの活動が主になりました。具体的には、ラジオの収録、週に一回の部会、新入生のための説明会、コロナ禍以前に行っていた新入生との交流を目的としたご飯会などを、zoomを利用してオンラインで行なっている状態です。



中でも、オンラインでのラジオ収録は、対面だからこそ感じられる距離感が掴みづらく、収録自体はできるものの、オンラインでの収録の難しさ、対面だからこそその盛り上がりや楽しさがあるということを知る機会になりました。

未だ予断を許さない状況ですが、もし、コロナが収束し、気兼ねなく対面での活動ができるようになりましたら、顔を合わせたラジオの収録、約一年叶わなかった合宿の開催、日芸祭でのラジオの生放送、生配信をしたいと考えています。その時は、ぜひオーム研のラジオを聞いてくださると嬉しいです。これからもオーディオ無線研究会をよろしくお願いたします。

オーディオ無線研究会 外部情宣伝 板橋末都輝（放送学科3年）



写真学科

■訂正とお詫びと御礼

前号でお伝えいたしました退職された先生方のお名前の中に
柏木善郎先生（S45年度卒）のお名前が抜けておりました。お
詫び申し上げますとともに、長きにわたり写真表現Ⅰ（広告写真）
の授業をご担当いただいたことに心より感謝申し上げます。

■学生選抜作品展「GRIP2021」開催

9月30日より10月6日まで、ポートレートギャラリーで
「GRIP2021」が開催されました。学内の公募により専任教員
の審査で選ばれた2年生～4年生7名（大貫友椰、尾之内麻里、
野口花梨、中山優瞳、山本蓮、徐捷、熊万葉）が出展しました。

■助手の藤原恒平さんが雑誌を飾る

雑誌『フォトコン』（日本写真企画、2021年7月号）の第
235回「一生懸命フォトグラファー列伝」に藤原恒平さん（R
2年度卒）が取り上げられました。きっかけはポートレートギャ
ラリーで2021年3月11日より17日まで開催した個展「47の
ほほえみ」でした。その作品は卒業制作で、日本全国都道府県
すべてを周り、その土地出身でその土地で暮らし続けている人
を撮影したものでした。その写真展を注目されての記事となり
ました。偶然にも取材をした神立尚紀さん（S60年度卒）も卒
業生で、江古田の街と校舎で話が盛り上がったそうです。



■助手の山田凌さん個展「拍動」開催

「写真編集」をご担当の三村漢先生が主宰するNineGallery主
催の新たな才能にスポットを当て写真家への道をサポートする
公募展第1回「9の穴」展でグランプリを獲得した山田さん（H
31年度卒）の個展が同ギャラリーで、8月3日より8日まで開
催されました。卒業制作に新作を加え、新たに構成した作品展
でした。

■日本大学芸術学部写真学科卒業生の会「新写真派協会」

新写真派協会のホームページでは随時、最新情報および卒業
生の写真展案内などをご紹介します。ぜひご覧ください。

<https://shinshashinha.com>

■写真学科公式ホームページ/Twitter

写真学科の直近情報は下記をご覧ください。

公式HP <https://www.nuaphoto.com>

公式Twitter @Nichigei_photo



映画学科

■昨年から続くコロナ感染症のため、今年度も多くの授業がオ
ンライン授業となりました。ただし、映画制作や舞踊などの授
業に関しては、ソーシャル・ディスタンスの確保、マスクの着
用、消毒の徹底など、コロナ感染症予防対策を十分にした上で、
面接授業も行っております。

コロナ感染症の影響も2年目になりますが、早期に平常授業
ができることを願っております。

■コロナ感染症対策のため、監督コース、撮影・録音コース、
演技コースの卒業制作、3年実習作品の上映会「フォーカイン」
は今年も中止となりました。

■毎年12月に開催されている映像表現理論コースの「映画ビ
ジネス」による映画祭は、予定通り渋谷ユークロスペースで行い
ます。今年は12月4日から10日までの7日間となります。

■今年度のオープンキャンパスは対面とオンラインの二つの方
式で6月27日（日）に行いました。コロナ感染症の予防対策
のため、予約制で行いましたが、対面、オンラインとも、予約
がすぐに埋まり、盛況でした。





美術学科

■グループ展《表層の冒険-抽象のパロキスム》展が3月15日(月)～3月28日(日)に学校法人片柳学園ギャラリー鴻にて笹井祐子教授と八木なぎさ講師が参加されました。■グループ展一花ひらくー8人の作家による作品展が3月19日(金)～3月31日(水)にATELIER・K ART SPACEにて笹井祐子教授が参加されました。■第95回国展が4月28日(水)～5月10日(月)に国立新美術館にて美術学科職員山崎櫻子さんが出品しました。■大庭英治/坪井麻衣子「ペーパーワークの魅力」展が4月1日(木)～10日(土)に銀座、ギャラリー・サロンドエスにて開催されました。■福島唯史教授が出品する「色彩は夢をみる」展が5月10日(月)～5月18日(火)に銀座、ギャラリーゴトウにて開催されました。■第58回太陽展に5月26日(水)～6月8日(火)、銀座、日動画廊にて福島唯史教授が参加されました。■7th INTERNATIONAL ARTISTIC FORUM "On paper without borders..."2021が5月9日(日)～The Cultures Meeting Center in Lublin, Polandにて笹井祐子教授と版画専攻2名が参加されました。



■第八次椿会展が5月7日～8月22日まで資生堂アートギャラリー飯田竜太准教授のデュオNerholが第8次椿回に出選され、展覧会に参加しました。■現代のパステル画展が7月24日(土)～9月26日(日)に笠間日動美術館にて福島唯史教授が出品されました。■十果会が7月上旬、日本橋高島屋にて瀬島匠教授が出品しました。■大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2021が7月下旬～9月中旬頃に大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2021にて鞍掛純一教授、彫刻コース有志による作品が発表されました。■いりや画廊企画いりやKOUBO準大賞展が8月23日(月)～8月29日(日)にいりや画廊にていりやKOUBO準大賞を受賞した柴田直起助手、他2名の準大賞3名によるグループ展覧会が開催されました。



音楽学科

音楽学科 これからの演奏会

●第50回ピアノコンサート

11月19日(金) 15時30分開場/16時00分開演
於：練馬文化センター 小ホール

●第33回ウィンドオーケストラ定期演奏会

11月24日(水) 18時30分開場/19時00分開演
於：練馬文化センター 大ホール

指揮：吉田行地

演奏：日本大学芸術学部音楽学科ウィンドオーケストラ

兼田 敏/吹奏楽のためのバラードⅡ

保科 洋/風紋

真島俊夫/3つのジャポニスム 他

●第136回定期演奏会

12月7日(火) 18時30分開場/19時00分開演

於：練馬文化センター 大ホール

指揮：吉田行地 演奏：日本大学芸術学部管弦楽団

モーツァルト/歌劇『劇場支配人』より序曲

ビゼー/『アルルの女』第1組曲、第2組曲

ドヴォルザーク/交響曲 第8番

●大学院修了演奏審査会【声楽/ピアノ】

12月10日(金)

於：芸術学部 音楽小ホール

ピアノ：10時30分開場/11時00分開演

声 楽：15時30分開場/16時00分開演

●第52回オペラ公演

12月23日(木) 17時30分開場/18時00分開演(予定)

於：光が丘IMAホール

指揮：江上孝則 演出：岩田達宗

モーツァルト/歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」

(ハイライト/原語上演)

●第42回新作室内楽の会

12月22日(水) 開場/開演時刻未定

於：芸術学部 音楽小ホール

※上記演奏会はすべて無料です。

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止または延期させていただく可能性があります。

その場合は、音楽学科ホームページにて発表いたします。



文芸学科

■ハヤカワSFコンテスト大賞に文芸4年・宮田 彬さん

SF作家の登竜門・第9回ハヤカワSFコンテストの大賞を、文芸学科在学中の宮田彬さん（ペンネーム：人間六度くになげんろくど）の『スター・シェイカー』が受賞しました。詳しい選評は〈SFマガジン〉12月号（2021年10月25日発売）に掲載され、2022年1月に単行本で刊行予定です。

■文芸学科・青木敬士教授製作のジオラマ模型が1位入選！



文芸学科教授の青木敬士先生が、故郷・苫小牧市の往年の町並みを縮尺1/150で再現したジオラマ模型「苫小牧1975」で、機芸出版社発行の雑誌「鉄道模型趣味（TMS）」主催「TMSレイアウト・コンペ2021」の入選筆頭（1位）に輝きました。作品の写真は「鉄道模型趣味」2021年8月号（2021年7月19日発売）

の表紙も飾っています。また、受賞の話題は地元苫小牧の新聞「苫小牧民報」（2021年8月2日および8月25日）でも報じられました。

■文芸3年・宮崎智弘さんの作品が『意味がわかと鳥肌が立つ話 続』に掲載されました！

文芸学科在学中の宮崎智弘さんの作品が、『続 意味がわかと鳥肌が立つ話』（学研プラス 2021年7月1日発売）に掲載されました。

■文芸3年・上原果さんの作品が『ワンルーム・ショートストーリー』に掲載されました！

文芸学科在学中の上原果（ペンネーム：うえはらはたし）さんの作品「ステイホームコスプレイヤー」が、『ワンルーム・ショートストーリー』（PHP文庫 2021年4月15日発売）に掲載されました。掲載作は“一部屋で完結する物語”をテーマに行われたpixiv小説コンテスト「執筆応援！ワンルームSSチャレンジ」の大賞、優秀賞受賞作品を含む短篇17作品となっています。



演劇学科

■令和3年度の演劇学科

永く演劇学科及び芸術学部の発展にご尽力された大久保恵児先生 千早正美先生 原一平先生が3月31日をもって専任教員を御退任されました。本当にお疲れ様でした。先生方はこれからも非常勤として学部及び大学院の授業を御担当頂きます。

未だ先行き不透明な社会情勢ではありますが、令和3年度の演劇学科は以下のメンバーで感染症と向き合いながら舞台芸術の学びについて学生と共に深めていきたいと思っております。

- | | |
|------|-------------------------------|
| 奥山緑 | 主な担当授業「演劇概論Ⅰ/企画制作演習/劇場論Ⅱ」 |
| 尾崎弘征 | 主な担当授業「音響演習/舞台技術研究Ⅱ/演劇特殊実習Ⅲ」 |
| 小林直弥 | 主な担当授業「演劇史Ⅰ/民族芸能文化論/日本舞踊演習」 |
| 范旅 | 主な担当授業「東洋演劇研究/東洋舞踊演習/総合実習」 |
| 藤崎周平 | 主な担当授業「演劇概論Ⅱ/演技論/演技演習」 |
| 中野成樹 | 主な担当授業「演出演習/演出論/総合実習」 |
| 松山立 | 主な担当授業「演劇史Ⅱ/演技実習Ⅰ/総合実習」 |
| 山口英峰 | 主な担当授業「演劇基礎演習/舞台監督演習/舞台技術研究Ⅰ」 |
| 青木拓也 | 主な担当授業「舞台美術実習Ⅰ/舞台美術実習Ⅱ」 |
| 南香織 | 主な担当授業「総合実習/演劇基礎演習」 |



令和3年度採用助手 右から 田中幸乃 能勢芽衣 渡辺葉菜

9月から3月までの間に11の実習発表及び卒業制作発表が予定されています。状況次第では昨年同様に学内限定公演となるかもしれませんが、公演情報等は下記にお問い合わせください。

問い合わせ先

演劇学科事務室 03-5995-8260

演劇学科HP <http://theatre.art.nihon-u.ac.jp>



放 送 学 科

■放送学科学生が企画制作したCMが受賞

2021年6月5日の世界環境デーに向けて、株式会社電通デジタルが大学生と「ワカモノに訴えるゴミ問題」をテーマにワークショップを実施しました。電通デジタル社の社員クリエイターと大学生がチームとなってWeb CMを企画制作しました。

6月4日の世界環境デー啓発イベントでは、完成したWeb CMが上映され、審査の結果、放送学科の3年生が企画制作したCMがグランプリと特別賞を受賞しました。

受賞作は以下の通りです。

グランプリ：「Vlog」篇

(放送学科3年・早崎優奈さん/松尾愛映さん/喜山幸音さん)

特別賞：「地球の風邪」篇

(放送学科3年・赤澤晴季さん/東峰梨奈さん/矢崎みなみさん)

作品はYouTubeにて広告配信されています。

<https://youtu.be/UgjOeYsrzLg>

https://youtu.be/IJ6q-qJQ_64

■第13回日藝賞・小野大輔氏著書『もす。2』が発刊中

第13回日藝賞受賞者・日藝アンバサダーで声優・アーティストとして活躍されている放送学科卒業生の小野大輔さんの著書『もす。2』が主婦の友インフォスから発刊されています。

雑誌「声優グランプリ」で連載してきた丸7年分のコラムが、未公開カット満載で完全収録されています。

撮り下ろし撮影は、小野さんの声優人生の原点ともいえる日本大学芸術学部で行われています。

ぜひ一読ください！

■2021年度前期・放送学科の授業形態

2021年度前期、放送学科では学部の方針に従い、講義科目に関しては基本的にオンラインで講義を行いました。ほとんどの講義科目がZoomやMeetを使用してのリアルタイム配信での授業となりました。

また、スタジオや機材などを使う「対面でない」と学習効果が得られない」実習・演習科目は、感染対策を十分に講じた上で対面授業を行いました。緊急事態宣言が発令された後も同様で、感染対策が功を奏し、前期期間は実習・演習ともクラスターなど発生せず無事に乗り切ることができました。

現時点（2021年8月）では、後期も前期同様の授業進行となる予定です。



デ ザ イ ン 学 科

■銀座和光のウィンドウ・ディスプレイを岩崎いぶきさんがデザイン

2021年6月24日から7月21日まで銀座和光本館 東側のショーウィンドウにデザイン学科4年の岩崎いぶきさんがデザインした「Animal Proposals」がディスプレイされました。ブライダルフェアに合わせて「多様性の時代の結婚に大切な価値観」をテーマに動物のイラストレーションを用いたインスタレーション作品として表現しました。

<https://www.wako.co.jp/news/1526>



■千葉県富里市と包括提携を結ぶ日本大学芸術学部の学生がデザインしたポスター制作等の企画が進行中

芸術学部は千葉県富里市と令和2年2月に包括連携協定を締結しており、富里市の魅力の発信・知名度向上を目的に、布目幹人専任講師とデザイン学科と写真学科の学生が「富里市PRポスター」、富里市地域活性「とみさと元気アップ」商品券、「読書駅伝寄りレー」の企画・協力をしています。

https://www.art.nihonu.ac.jp/blog/index.php?c=topics_view&pk=1613522490

<https://www.city.tomisato.lg.jp/0000012104.html>

■第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2021にて池田光宏准教授が入選

3年に1度のトリエンナーレ形式で開催されるポスターの国際公募展にてデザイン学科の池田光宏准教授が入選しました。世界64か国と地域より総計5,943点の応募から選抜された入選作品の展覧会は2021年7月10日から9月5日まで富山県立美術館で開催されました。

<https://www.artagenda.jp/exhibition/detail/5968>

世代と領域を繋ぎ、 クリエイションの可能性を広げる

——— 日藝校友会ホームページが18年ぶりにリニューアル ———


日本大学藝術学部校友会
NIHON UNIVERSITY COLLEGE OF ART

[TOP](#)
[校友会について](#)
[江古田舎](#)
[校友たちの活躍](#)
[日藝賞](#)
[校友会報](#)
[リンク](#)
[CONTACT](#)



想い出の日芸 旧・江古田校舎・正門 (1971～2004)

information

- 2021.08.23 日藝校友会サイトのリニューアル公開に向けてのご挨拶
- 2021.08.06 夏期休業に伴う校友会事務局の事務取扱について
- 2021.06.30 「校友たちの活躍」掲載につきまして

[詳細を](#)
[詳細を](#)
[詳細を](#)

CONTACT

皆さん、日藝校友会ホームページが18年ぶりに一新されたことをご存じですか！

このサイトの立ち上げの発端は、リアルタイム・ホット情報の双方発信です。

本学部創設100周年を迎える記念すべき年。田上 竣詞 会長の音頭とサポートのもと、昨年から校友会のホームページ(HP)リニューアル委員会を立ち上げ、構想段階から約1年半の歳月をかけ、8月にリリースとなりました。

コロナ禍のなか、メールによるデータのやり取りを含め、毎月数回のHP委員会と拡大委員会の打合せをオンラインで実施。構想段階から、企画設計、制作実装、公開運用、そして更新管理を含め、日藝出身のHP制作の専門家を交え、多くの打合せをかさねてまいりました。

あらためて日藝校友会サイトのリニューアルに纏わって頂きました、田上会長はじめ、執行部メンバーの方々には、度重なる打ち合わせにご参加いただき、さらに多大なご協力を頂き心より感謝申し上げます。

さて今回のリニューアルされた校友会サイトは、旧サイトと一変して『CONTACT』ページのコンテンツを加えたことです。内容としては日本大学芸術学部校友会の「各種お問合せのご案内」として、下記①～⑥のコーナーを設けました。

①「よくある質問」 ②「お問い合わせ」 ③「登録情報の変更」
④「イベント情報の掲載」 ⑤「卒業生リンク申請」 ⑥「思い出の日芸大募集」

それは校友会からの情報発信は当然ですが、校友の皆さんが主催の展示会やイベント、出版や受賞、等々のお知らせを「校友たちの活躍」として自ら申請・掲載することができます。

この「イベント情報の掲載」は、このサイトが校友の皆さんとの双方向のパイプ役として、「インタラクティブ」なサイトとして活用されることがねらいでもあります。

さらに「思い出の日芸 大募集！」では、各学科の作業風景



や部活動、先生や友人とのひとコマなど、校友たちが過ごした懐かしい日藝の写真の大募集しています。

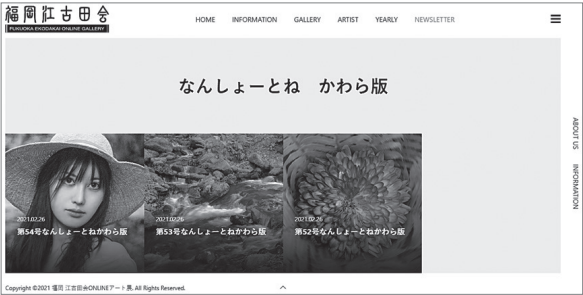
掲載には限りがありますが、継続して企画運用していきたいと思っております。

また「江古田会」のページでは、現在二支部になりますが、独自に立ち上げ発信中のサイトや公開情報にリンクさせていただきました。そこからは、各地域で育まれた校友の強い絆と、さらなる国内外の「江古田会」のネットワークづくりに広がる大きな願いです。

そして、そこからはリアルタイムの活動状況がわかり、今後益々の各支部「江古田会」が、それぞれに活性化されていくことは間違いありません。



現在「福岡江古田会」と「宮城江古田会」からの情報発信に準じて、今後の各支部「江古田会」から独自の情報発信にリンクさせて頂くことを期待しております！



このように、多くの校友の皆さんが積極的に参加できるコンテンツが満載です！

なお日藝校友会本部としとしても、「活動報告」のページでは、総会の内容をいつでも具体的に理解していただけるように、今回のリニューアルサイトからは記録映像として、配信することができるようになりました。ぜひご覧ください。

そして今後は、状況に応じたライブ映像等の配信も試み、校友会主催の各イベント等をリアルタイムに配信できるように、

コロナ禍を契機とし、今後益々のコミュニケーションインフラの整備にも注力してまいります。

なお、HP委員会では情報発信に対して、昨今のネット情報を含め、サイトのセキュリティの強化と、スマホ対応のレスポンスデザインにもつとめ、さらに申請された掲載・投稿情報の対応には、公平性・信頼性・安全性・等を含めた規約体制に関しても、多々議論を重ねてまいりました。そして、それらのことを踏まえたうえで「ひらかれた校友サイト」づくりに努めてまいります。校友皆さまのご協力をお願い申し上げます。

そして「日藝校友会サイト」を通して校友の皆さまとの「絆」と「ネットワーク」が、さらなる親睦を深め、温かく身近に感じる思いを共有できることが日藝校友会活動の活性化につながることは間違いありません。さらにクリエイター育成や教育の指針に関しましても、日本大学芸術学部との連携をはかり、日藝ブランドのさらなる信頼と発展に寄与してまいります。

最後に、校友の皆さまとの情報共有の場として、新しい日藝校友会サイトへのアクセスを期待しております。そこで、下記URLやQRコードから、PC・スマホ等でぜひご覧頂き、まだまだ改善・改良点があると思いますので、ご感想・ご意見等を頂ければ幸いです。

校友会サイト ▶ URL : <https://koyu.art.nihon-u.ac.jp/>



20210819
校友会副会長 HP委員会委員長
千北 正 (チギタ タダシ)
昭和52年度 デザイン学科(旧:美術学科)

令和3年度芸術学部校友会総会開催報告

令和3年度日本大学芸術学部校友会総会が6月19日（土）午後2時より日本大学桜門会館4階会議室にて開催された。

総会は松島副会長（映57年度卒）の司会進行で、田上校友会長（放53年度卒）の挨拶、木村学部長・校友会名誉会長（デ53年度卒）の挨拶、続いて議長に鳥山常任幹事（映59年度卒）、書記に田中副会長（写53年度卒）が選出され、議事に入った。

議長より芸術学部校友会の役員数は126名で本日の出席は26名、委任状出席は1264名であり会則10条により会は成立する旨の報告があった。

令和2年度会務報告と令和3年度会務計画案を総務担当・川上常任幹事（音H7年度卒）より報告、令和2年度会計報告を会計担当・宮澤常任幹事（映46年度卒）、監査報告を渡辺監事（音51

年度卒）、令和3年度予算案審議を会計担当・宮澤常任幹事、常任幹事数の増員についての会則改定について高橋則英副会長（写52年度卒）より説明がなされ、いずれも拍手を持って承認された。

また、宮澤常任幹事より会報106号に令和2年度予算書が誤掲載された件についてお詫びと訂正が報告された。

田上会長よりホームページ改訂の内容と活用方法についての説明、本部校友会との仕組みを次回会報誌に掲載すること、本部校友会からの奨学金や助成金についての報告と説明がなされた。

今年度はコロナ禍のため、懇親会は中止となった。

お詫びと訂正

会報106号18頁に掲載の令和2年度予算案につきまして、誤った資料を掲載してしまいました。大変申し訳ございません。正しい予算案を掲載いたします。

令和2年度(2020年度) 予算

収入之部		
勘定項目	摘要	金額(円)
本部よりの会費	準会員 4,000円×3,710人=14,840,000円 正会員 3,000円×50人=150,000円	14,990,000
校友会終身登録費	5,000円×300人=1,500,000円	1,500,000
雑収入	総会懇親・新年会会費、お祝い金、百藝手拭い等	1,250,000
広告費	校友会報 広告掲載	300,000
収入利息		5,000
合計		18,045,000

支出之部		
勘定項目	摘要	金額(円)
総会費		250,000
諸会議費	常任幹事会・諸会議	100,000
消耗品費	ゴミ袋・洗剤、ガムテープ・雑巾 他	10,000
事務用品費	ファイル・ノート・プリンターインク・コピー用紙 他	34,000
通信費	会報発送(在校生・卒業生) 総会・会費請求切手 他	5,500,000
補助費	学科同窓会・幹事会・総会・日芸祭・卒業生を送る会 支部補助(20支部×5万円) 支部総会出席祝儀	1,150,000
寄付分担金	本部校友会分担金・日本大学130周年記念事業募金 他	440,000
印刷費	会報・総会・幹事会・終身登録費請求書 他	2,200,000
人件費	事務局員給料・アルバイト・人材派遣	4,300,000
法定福利費	労働保険・社会保険・雇用保険	690,000
旅費・交通費	支部出張費・宿泊費・事務局員通勤定期代 他	740,000
租税公課	利子税	1,000
活動費	学生諸活動支援・バッジ・キーホルダー	240,000
備品維持管理費	メンテナンス及びホームページ改良 コピー機リース(21,824円)	260,000
本部役員会費	年会費(本部副会長5万・常任委員2名各3万・委員3名各2万)	170,000
交流費	新年会・他学部校友会交際(13学部総会祝儀×2万円)	1,100,000
業務委託費	中間・決算・期末決算	167,000
雑費	会報取材費・貸金庫代・スタジオマイデザイン料 他	250,000
支払手数料	銀行支払手数料など	16,486
退職積立金	事務局員退職金(校友会内規第4章第19条)	300,000
減価償却費		126,514
合計		18,045,000

特別会計	特別会計前期繰越金	2,295,496
	繰越利益剰余金より	2,704,504
特別会計合計	新型コロナウイルス感染症対策緊急支援	5,000,000

令和3年度(2021年度) 予算

収入之部		
勘定項目	摘要	金額(円)
本部よりの会費	準会員 4,000円×3,833人=15,332,000円 正会員 3,000円×50人=150,000円	15,482,000
校友会終身登録費	5,000円×300人=1,500,000円	1,500,000
雑収入	新年会会費、お祝い金、百藝手拭い等	950,000
広告費	校友会報 広告掲載	0
収入利息		5,000
合計		17,937,000

支出之部		
勘定項目	摘要	金額(円)
総会費		340,000
諸会議費	常任幹事会・諸会議	50,000
消耗品費	ゴミ袋・洗剤、ガムテープ・雑巾 他	10,000
事務用品費	ファイル・ノート・プリンターインク・コピー用紙 他	90,000
通信費	会報発送(在校生・卒業生) 総会・会費請求切手 他	5,500,000
補助費	学科同窓会・幹事会・日芸祭・100周年イベント学生補助 支部補助(20支部×3万円) 支部総会出席祝儀	1,261,032
寄付分担金	本部校友会分担金・日本大学130周年記念事業募金 他	440,000
印刷費	会報・総会・幹事会・終身登録費請求書 他	2,200,000
人件費	事務局員給料・アルバイト・人材派遣	4,300,000
法定福利費	労働保険・社会保険・雇用保険	700,000
旅費・交通費	支部出張費・宿泊費・事務局員通勤定期代 他	300,000
租税公課	利子税	1,000
活動費	学生諸活動支援・バッジ・キーホルダー	240,000
備品維持管理費	メンテナンス及びホームページ改良 コピー機リース(21,824円)	1,520,000
本部役員会費	年会費(本部副会長5万・常任委員2名各3万・委員3名各2万)	170,000
交流費	新年会・他学部校友会交際(13学部総会祝儀×2万円)	0
業務委託費	中間・決算・期末決算	167,000
雑費	会報取材費・貸金庫代・スタジオマイデザイン料 他	250,000
支払手数料	銀行支払手数料など	35,000
退職積立金	事務局員退職金(校友会内規第4章第19条)	300,000
減価償却費		62,968
合計		17,937,000

特別会計	芸術学部創設100周年お祝い金	2,000,000
------	-----------------	-----------

日本大学芸術学部校友会支部 「東京江古田会準備委員会」 発足のお知らせ

このたび東京都および近県の卒業生の方を会員対象にした日本大学芸術学部校友会支部「東京江古田会(仮称)」につきまして「準備委員会」を発足いたしました。

チャーターメンバーによって、設立に向けた準備が整い次第お知らせ申し上げます。

平成元年度卒 小橋 克史(美術学科)
連絡先: kobashi@nkr.co.jp
090-2330-0584

* 校友会で、「百藝」をモチーフにした本染めの手拭いを1本500円(送料、振込手数料ご購入者払い)で販売しております。

お問い合わせは事務局まで。
ekoda.koyu@gmail.com



編集後記

新型コロナウイルスの世界的流行下での生活はすでに2年めです。日大はワクチンの職域接種に素早く名乗りをあげ、多くの学生がこの機会にモデルナのワクチンを接種しました。それでもマスク着用生活は続き、以前の生活様式を取り戻すには至っていません。日芸祭をどのような形で実現するか、ポジティブな挑戦の機会となることを切に願います。(青木)

- 発行人 田上 竣詞
- 編集人 田中 光子
- 会報編集委員 山本 英史、安部 裕、茅原 良平、長瀬 浩明、青木 敬士、千北 正
- 表紙 高中知世『こどく』
令和2年度(2020年度)美術学科 版画専攻修了技法: リトグラフ
- デザイン監修 平林 直人
- 印刷所 江戸クリエート株式会社
東京都文京区本郷 3-43-16 コア本郷ビル
電話 03-3814-1225

8つのアート1つのハート



日本大学藝術学部

日本大学芸術学部校友会報・第107号

2021年秋季号 ●令和3年10月発行 ●

非売品

不許可転載

●発行所 日本大学芸術学部校友会
〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1
日本大学芸術学内
電話 (03) 3554-5363
事務担当 星野 祥子

URL: <https://koyu.art.nihon-u.ac.jp/>
メールアドレス: ekoda.koyu@gmail.com



2022年度一般選抜A個別方式について

一般選抜A個別方式第1期

【第1週】

学科	試験日	試験場所
写真学科	2月8・9日(火・水)	芸術学部校舎
美術学科		
音楽学科		
演劇学科		
放送学科		

【第2週】

学科	試験日	試験場所
映画学科	2月15・16日(火・水)	芸術学部校舎
美術学科		
文芸学科	2月15日(火)	
デザイン学科	2月15・16日(火・水)	

一般選抜A個別方式第2期

学科	試験日	試験場所
写真学科	3月8日(火)	芸術学部校舎
映画学科	3月8・9日(火・水)	
美術学科		
音楽学科		
文芸学科	3月8日(火)	
演劇学科	3月8・9日(火・水)	
放送学科		
デザイン学科		

入試博覧会について

日時	2022年3月13日(日)～20日(日)
内容 (予定)	●個別進学相談コーナー

※当日は日藝の卒博を実施していますので、学生の卒業作品やキャンパスの雰囲気もご覧いただけます。

入試情報に関する詳細は芸術学部ホームページをご確認ください。
 日本大学芸術学部ホームページ <http://www.art.nihon-u.ac.jp>

